

大地の恵み、『伝統資源』を次世代へ

～ 在来ムラサキを次世代へ繋ぐ、保存の知恵と技を伝え導く役割・栽培作業チームの「かなめ」的存在者である ～



ムラサキ生育管理場・高橋園芸



ムラサキプロジェクトの栽培チーム



巒野大豆味噌作り

概 要

- 2008年7月に地域資源発掘をかかげて設立した「東京ひのはら地域協議会」の会員として、「農」の知恵袋の相談役を担う。協議会が解散以後、意思を受継いで活動を始めた「湯久保宿」の社員として前記同様の役割を担い、「ムラサキ」の保存活用を目的として同協議会から生まれた「ひのはらムラサキプロジェクト」を軸に、これまで同様「檜原在来ムラサキ」の栽培環境としての場の提供と、商品化するまでの支援を行っている。

成 果

- 「衣」地域資源「ムラサキ(絶滅危惧種)」の保存・紫根の活用、在来染料の採取・育成、種の保存、染色の体験型研修の指導的役割を担う。
- 「食」地域資源「在来大豆」商品化、商標登録、種の普及、発酵食品づくり体験の指導的役割を担う。



高橋さんと有識者懇談会 座長